

児童発達支援 自己評価表

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			圧迫感のない広いスペースをとり、クールダウンできる小スペースも確保しています。
	②	職員の配置数は適切であるか	○			必ず1対1以上になるよう指導員がつき 安全面がおろそかにならないようにしています。
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか			○	事業所までの階段が、危険とのご意見があり、張り紙をして注意をお願いしたり、必要な児童には、指導員が子どもと手をつないで下まで降りています。また、備え付け以外に照明を設置し明るくしました。
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子どもの活動に合わせた空間になっている	○			落ちていたシャーペンの芯が、子どもの足にささったことがあり、気を付けて掃除をしています。また、グループワークで運動をする際には、机といすは移動させて 広い空間を利用するようにしています。
業務改善	⑤	業務改善を進めるための PDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	○			個別支援計画書作成時には、当事業所での様子をお伝えし 保護者のニーズと合わせて目標を設定しています。
	⑥	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			保護者向けの評価表を実施し、保護者の意向等を聞きとり、話し合い 改善していきます。
	⑦	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			
	⑧	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			○	客観的な目で見えていただいた評価は大切ですので、これからの課題としてどのような方法で行うか検討いたします。
	⑨	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			協力機関である安原こどもクリニックの院長に入ってください 毎月、事例検討会を行っています。外部研修にも参加を促し そこで得た知識を回覧や口頭で、職員に伝えるようしています。 研修報告書にて周知をはかっています。

適切な支援の提供

⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、サービス計画を作成しているか	○			保護者との面談の中でニーズを聞き取り、サービス計画・評価を作成しています。
⑪	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			
⑫	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			毎日、学習が始まる前に指導員の中で、利用者の様子を共有し チームごとに活動の内容を検討しています。
⑬	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか		○		固定化はしないようにしているが、児童の場合は繰り返しによる習得が大切なところもあるので、月ごとに毎回行うプログラムもあります。
⑭	平日、休日、長期休暇に応じて、課題を決め 細やかに設定して支援しているか	○			季節や幼稚園・保育園の行事に応じた内容を取り入れ、季節感や伝統を大切にしたカリキュラムを考えています。
⑮	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる計画を作成しているか	○			児童発達支援では、個別の活動と集団の活動だけでなく座ってする活動と体を動かす活動も取り入れ 様々な面からの活動ができるようにプログラムを組んでいます。また、子どものその日の状態をみて内容を変更することもあります。
⑯	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			支援開始前には必ず利用者の特性や状況を共有し、活動、支援内容や役割分担を決めています。
⑰	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			活動終了後に情報を共有し 気づいた点を検討し 職員間での周知を行っています。場合によっては、保護者の方にご報告や相談をさせていただくこともあります。
⑱	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			活動終了後には、当日の様子について記録をつけ 月ごとに保護者の方にお渡ししています。
⑲	定期的にモニタリングを行い、サービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○			保護者との面談を行い、当施設での様子をお伝えし ご家庭での様子やニーズを聞き取り 計画の作成・評価を見直しています。
⑳	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせる支援を行っているか	○			

関係機関や保護者との連携

21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○			できるだけ、担当指導員と管理者が参加するようにしている。
22	幼稚園や保育園との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか		○		今後の課題として、検討しています。保護者の方からお申し出があれば、学校との連絡を行っています。トラブルについては、速やかに保護者に連絡しています。
23	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか				該当の利用者なし
24	幼稚園・保育園を卒業し、放課後等デイサービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか				該当の利用者なし 全員、当施設の放課後デイに移行しています。また、他の市設もご利用の方については、担当者会議で情報共有をしている。
25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○			担当者会議を通じて話をしたり 連絡会や研修会には参加しています。
26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか		○		地域の交流については、今後の課題として 検討しています。
27	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○			年間3回の連絡会で研修をしています。
28	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか		○		今後の課題として、検討しています。
29	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか			○	
30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			事業所での様子を送迎時に伝え、1ヶ月～2ヶ月毎に記録をお渡ししています。
31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	○			学習方法など、家庭でも出来ることをお伝えしています。

保護者への説明責任等	③②	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			
	③③	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			主に管理者、児童発達支援管理責任者が対応し、保護者の心配や不安を受け止め、関わり方のアドバイス等をお伝えしています。
	③④	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	○			年度末に保護者会を開催しました。保護者間で 就学に向けての不安や生活の中での困りごとについて話すことができ、保護者間でアドバイスが出たりもしました。
	③⑤	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			苦情受付担当者を設置し、苦情があった場合は真摯に受け止め対応をします。
	③⑥	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか		○		行事予定表の配布や提示などを検討中です。
	③⑦	個人情報に十分注意しているか	○			
	③⑧	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			状況に合わせて電話や書面で対応したり指導員がゆっくり、はっきりと話す等の配慮を行っています。
	③⑨	状況に合わせて電話や書面で対応したり指導員がゆっくり、はっきりと話す等の配慮を行っています。	○			状況に合わせて電話や書面で対応したり 指導員がゆっくり、はっきりと話す等の配慮を行っています。
	④①	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか		○		個人情報の問題もあるため、現在は行っていません。
	非常時等の対応	④①	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○		
④②		非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			災害時マニュアルを作成しています。紙芝居を活用し防災教育と避難訓練を毎月行っています。
④③		虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			虐待防止マニュアルを作成し、研修後は職員に周知しています。

④④	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	○			契約時に説明をし、同意書にサインをもらっています。
④⑤	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○			保護者からの聞き取りにて、アレルギーの有無を確認しています。
④⑥	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			事例を元に情報の共有する会議を開き事故防止に努めています。